



# 生成AI業務転換編

## DX化支援研修サービス

---

生成AIの進化と助成金制度を追い風に、今は企業がAI人材を育成する絶好の機会です。

# 会社概要

会社名 : オフィスコンサルティング株式会社

所在地 : 〒220-6008

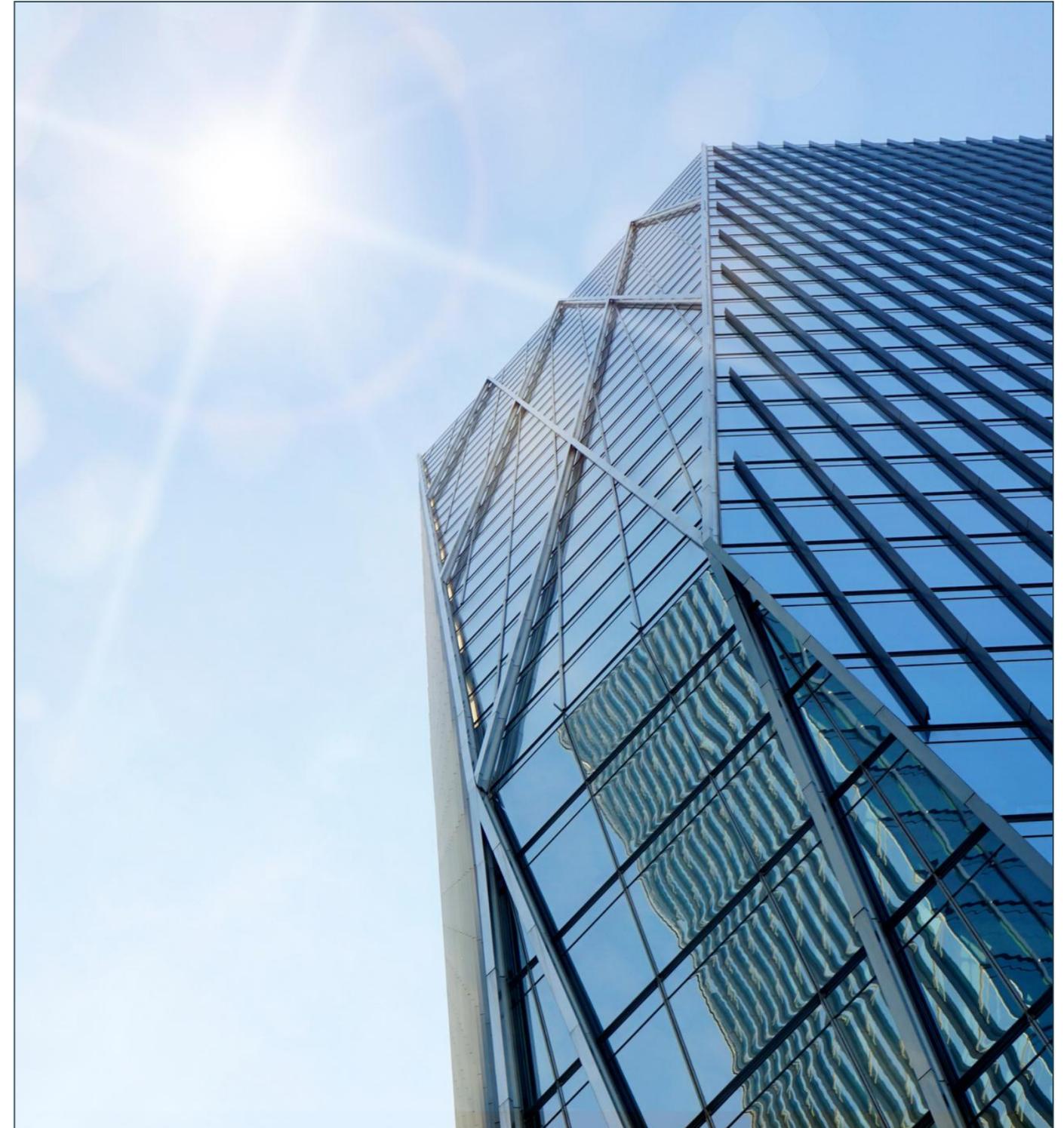
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1

クイーンズタワーA807

事業内容 : 教育訓練事業、電力小売事業、  
光コラボレーション事業、OA機器販売事業 他

設立 : 2018年10月

ホームページ : <https://office-consulting.co.jp/>



# サービス概要（シリーズコンセプト）



映像制作編

AI活用実践編

業務効率化編

生成AI社内浸透編

生成AI定着編

ChatGPT業務活用編

生成AI業務転換編

「DX化支援研修サービス」シリーズは、DX・生成AI活用を「知る」段階から「現場で使える」段階へ、さらに「組織に定着」する段階まで、段階的に引き上げる研修シリーズです。各編は単体での導入も可能ですが、シリーズとして導入することで、「スキル習得 → 業務適用 → 組織浸透 → 定着運用」の流れを一気通貫で構築できます。

# このシリーズで実現できること

本シリーズは、生成AIを安全に活用しながら業務を標準化・効率化して生産性を高め、個人の活用に留めず組織全体で再現・定着する運用まで実現します。



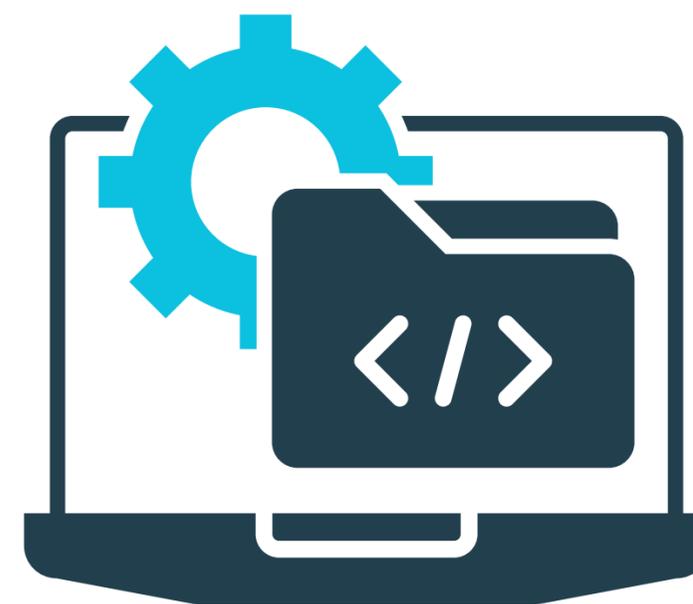
## 現場の生産性向上

業務のムダや手戻りを減らし、  
標準化と効率化を実現



## 生成AIの安全運用

使いどころ・注意点・判断手順を理解し、  
リスクを下げて活用



## 社内展開・定着

活用が一部の人で止まらず、  
組織で再現できる運用に落とし込み

# ご利用企業

製造・小売・サービス・医療/介護など、幅広い業種の企業・団体にご導入いただいています。



## AIを使っているが活用に不安

主に複数のAIツールの組み合わせを学ぶ



## 業務が忙しく、余裕がない

AIで業務効率化し、時間とリソースを最大化



## 現場で活かせるAIスキルを習得

実践AIスキルを短時間で習得し即戦力に

# 当社が選ばれる理由

01

## わかりやすい内容構成

共感もてるストーリーの採用により、AI活用のイメージが伝わり、実践で使えます

02

## 目的別に選べるコース

実務で活かせるスキル習得のため、目的別に最適コースを用意しました

03

## 直感型LMS

多くの受講者様から直感的で分かりやすいと高く評価されており、安心して利用できます

04

## 実務で活用できるAIを厳選

数多のAIから実務利用できるAIを厳選。AIの単体利用から掛け合わせた利用方法までを身につけられます

05

## 本研修のストーリー部分の特徴

現場の「あるある」をストーリーで追体験し、失敗ポイントと改善の型を自分ごととして理解できる構成です

# 構成の特長

## 従来の研修課題

内容が硬すぎる

頭に入っていない

活用シーンを想像できない

## 当社のDX化支援研修サービス

興味喚起

疑似体験

実体験

発見・想像

飽きやすく実務に活かしにくい研修の課題を解消し、楽しみながら自然に応用力が身につく構成です。

# 生成AI業務転換編

# 生成AI業務転換編



### インフォグラフィックとは？：情報を視覚化する説明デザイン

**活用例**  
ビジネスプレゼン  
レポート・資料  
ウェブ・SNS

**目的とメリット**  
統計や手順などの情報を視覚化  
図表・アイコン・配色  
一枚で要点と関係性を直観的に伝える説明デザイン  
直観的理解  
一枚で伝える

**図表**  
図表・グラフ タイムライン

**アイコン**  
概念 行動

**配色**  
信頼  
成長  
創造性  
希望

じゃあ早速、  
どんなふうに見えるのか見ていきましょう。

### AIのアウトプットは「入力」で決まる

ChatGPT	NotebookLM
 検索の代用	 ソースに基づく回答

良いアウトプットは、良いインプットからしか生まれない。  
AIが答えられないなら、それはAIのせいではなく、ソース（入力）の不足です。

2つ目は、AIを使い捨てにするんじゃなくて、

**DX Support Training Service**

# AIの力で課題を解決する ケース毎の短編ストーリーで学べる3つの力

生成AIツールを活用し、情報整理・調査・資料作成・知識共有を実務に生かす方法を学ぶ教材です。  
複数のAIを適切に使い分けながら、業務の質・再現性・生産性を高める実践力を身につけます。

AIのアウトプットは「入力」で決まる

ChatGPT	NotebookLM
 検索の代用	 ソースに基づく回答

良いアウトプットは、良いインプットからしか生まれない。  
AIが答えられないなら、それはAIのせいではなく、ソース（入力）の不足です。

業務は「蓄積」が鍵

一般的な回答	文脈に応じた回答
 単発の質問	 資産の蓄積

蓄積することで、AIは「世の中の正解」ではなく「自社の文脈」で答えるパートナーとなります。  
「世の中の正解」ではなく、「自社の事実と文脈」に沿って答えるAIになります。

第6回 Notionの中でAIが働くと仕事の“往復”が消える



住所表記の変換

そのとき、日本語の住所を選択して「英語にして」と指示します。

## AIを業務に合わせて使い分ける力

複数のAIや各種ツールを、目的や業務  
場面に応じて適切に活用する力を養い  
ます。

## 情報を整理・活用し、 成果物の質を高める力

情報収集・要約・資料作成・知識共有  
を通じて、業務の精度・再現性・生産  
性を高めます。

## AIを業務パートナーとして活用する力

AIを単なる回答ツールではなく、仕事  
を前に進める実践的なパートナーとし  
て使いこなす視点を身につけます。

# 各章で学べるAI

■ 全6章構成

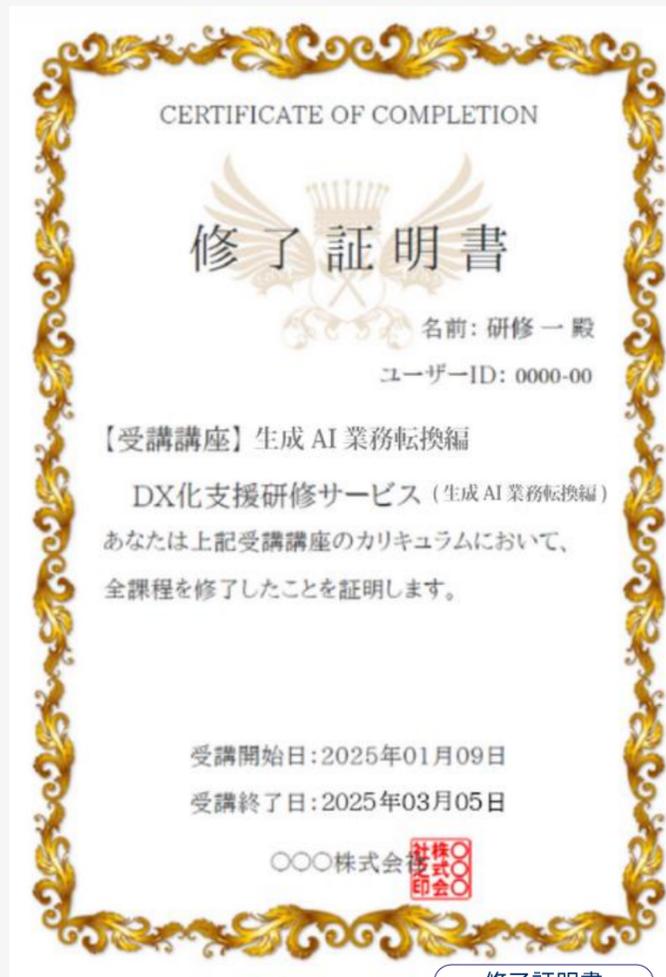
■ 標準学習時間：約12時間30分

■ 全動画 120日間見放題

1章	<b>NotebookLMを活用した社内情報の整理・蓄積と実務活用</b>	4章	<b>スライド生成AIとCanvaを活用した伝わる資料構成と表現改善</b>
	<p>【内容】 NotebookLMで社内資料や知見を根拠付きで整理・要約し、共有・活用する方法を学ぶ。</p> <p>【身につくこと】 業務に関する情報や知見をAIを使って整理・蓄積し、AIの回答精度を高め情報を引き出す活用力</p>		<p>【内容】 スライド生成AIとCanvaを活用し、資料作成の初動を効率化しながら伝わる構成と表現を学ぶ。</p> <p>【身につくこと】 生成AIとデザインツールを組み合わせる資料作成の効率化し、成果物の質を高める実務活用力</p>
2章	<b>王道生成AIの使い分けと実務活用</b>	5章	<b>Notionを活用した情報共有基盤の構築と組織活用</b>
	<p>【内容】 複数の生成AIを業務場面に応じて使い分け、構造化した指示で実務活用する方法を学ぶ。</p> <p>【身につくこと】 複数の生成AIを使い分ける判断力と、構造化した指示によりAIからの回答の質と再現性を高める設計力</p>		<p>【内容】 Notionで業務情報や知識を構造化・共有し、組織で活用できる基盤づくりを学ぶ。</p> <p>【身につくこと】 個人に蓄積された情報や業務知識をNotionで構造化・共有し、組織で活用できる仕組みを設計する力</p>
3章	<b>調査系AIを活用した情報収集・分析と情報検証</b>	6章	<b>生成AIを活用した仕事の進め方の見直しと実務活用</b>
	<p>【内容】 GensparkとPerplexityを使い、情報収集から分析・検証までを業務に生かす方法を学ぶ。</p> <p>【身につくこと】 AIを使って情報を効率よく収集・整理し、実務に活かせる確かな情報を見極める調査・判断力</p>		<p>【内容】 生成AIを業務を前に進めるパートナーとして活用し、実務に合わせた使い方を学ぶ。</p> <p>【身につくこと】 生成AIを自分の業務に合わせて活用設計することができ、仕事の進め方そのものを変えていく転換力</p>

# 学習管理システム（LMS）について

直感的に操作できるプラットフォーム設計により、スムーズに学習を進められ、受講完了後には修了証明書を発行



修了証明書



プラットフォーム

## 01. 直観的に分かりやすいデザイン

ユーザー視点を徹底し、誰にとっても理解しやすいシンプルかつ直観的なデザインを設計している

## 02. 結果の管理

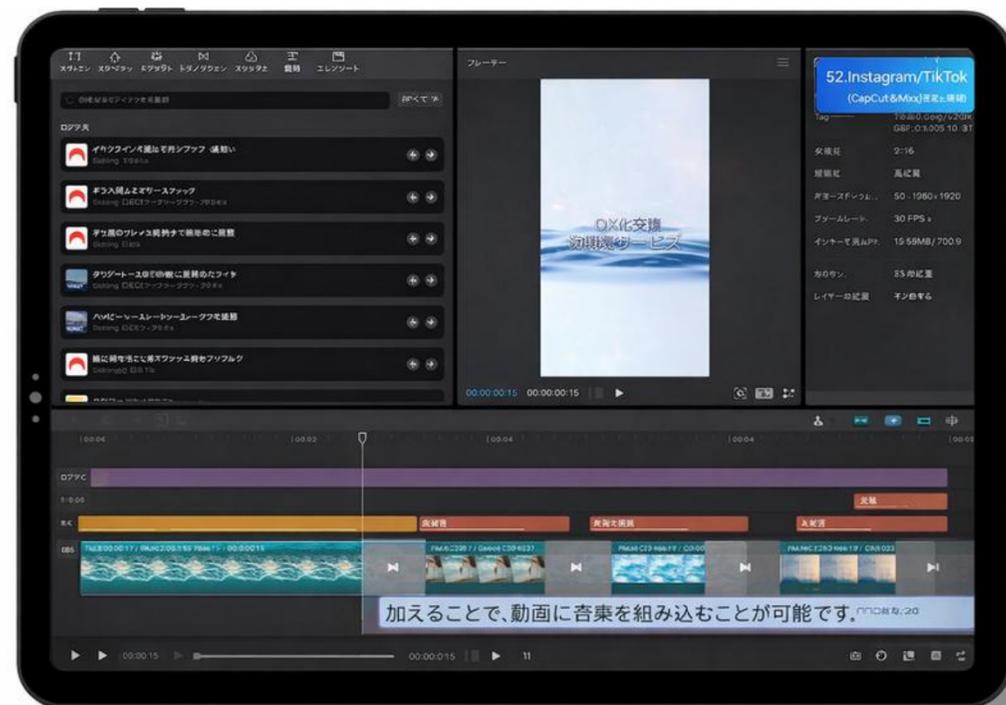
各受講者の学習進捗および視聴履歴を記録しCSV形式でのデータ出力に対応している

## 03. 飛ばし見防止機能付き

学習効果を高めるための飛ばし見防止機能を搭載している

# サービス料金

生成AI業務転換編・サービス料金（受講料金）



1人：330,000円（税別）

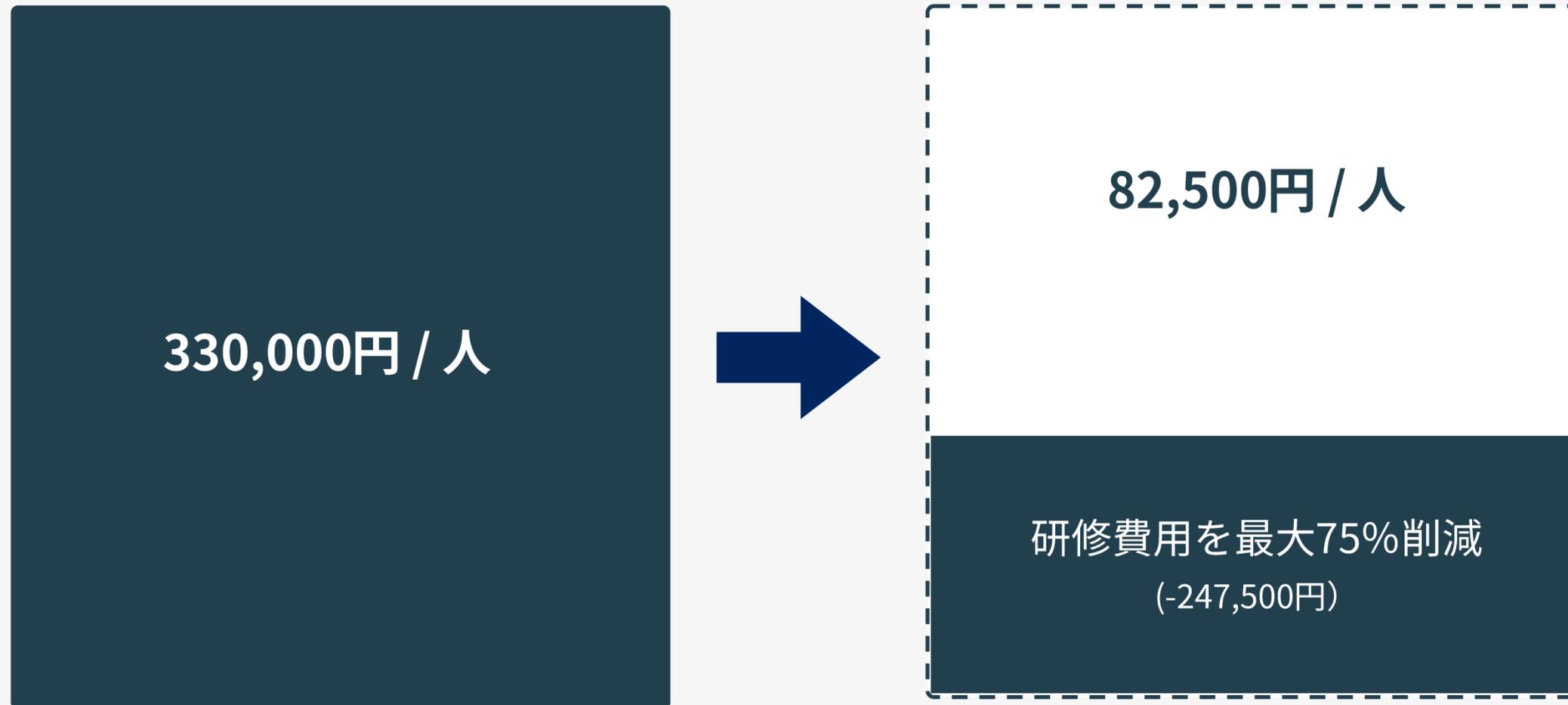
- AIの利活用に特化した研修を体系的にパッケージ化。LMS機能（学習管理システム）を備えたeラーニング動画形式
- 動画視聴後は日常業務へAIを取り入れた実践が容易となり、業務効率化を強力にバックアップ

# 助成金入金までの流れ



# 助成率・助成額について

厚生労働省の人材開発支援助成金―事業展開等リスクリング支援コースの申請が可能



※ 大企業は最大60%の助成となります。 (-198,000円)

# ありがとうございます

生成AIの急速な進化により、ビジネスの前提は大きく変わりつつあります。  
さらに助成金制度という強力な後押しがある今、企業がAI人材を本格的に育成できる絶好のタイミングです。

「様子を見る」段階はすでに終わり  
AIを使いこなせる組織かどうか、今後の生産性と競争力を左右します。

投資負担を抑えながら組織変革を進められる今こそ、AI人材育成に踏み出す最適な機会です。